

報道関係者各位
プレスリリース

2012年7月5日
株式会社ワンズワード

オンライン英会話スクール業界初！英国ケンブリッジ試験準備コース開設のお知らせ：本当に英語が話せるようになるために正しい目標設定をする

オンライン英会話スクールを運営する株式会社ワンズワード（代表取締役：松岡祐紀）は2012年7月5日より、「[ケンブリッジ試験準備コース](http://www.onesword-online.com/guidance/lesson)」（<http://www.onesword-online.com/guidance/lesson>）を開設しました。

ケンブリッジ試験とは、英国ケンブリッジ大学が実施する CEFR（欧州共通言語参照枠）に則り、英語の4技能（スピーキング、リスニング、ライティング、語彙・文法力）を計る試験です。CEFR はヨーロッパ各国が語学力を計る際に用いる評価基準であり、それに対応した英語試験としてはケンブリッジ試験が最も権威があります。

ヨーロッパ各国の大学・企業だけではなく、アジアでも中国・台湾・韓国の各国が CEFR に沿った英語教育カリキュラムを実施し、2012年度から日本でも NHK が自社テキストを評価する基準として CEFR を採用しました。（詳しくは[こちら](#)をご覧ください）

日本では「英語が話せるようになりたい」と漠然と思っている人たちが多くいますが、現実的な目標設定がおろそかになっている傾向があります。ケンブリッジ試験では、当然のように面接官による口頭試験、それに実際のニーズに応じた自由筆記試験がありますので、ケンブリッジ試験の FCE（中上級に値する試験）に合格すれば、国際的にも「英語が話せる」という証明になります。（この件に関して、弊社代表が[こちら](#)で詳しく解説しております）

現在、起業それにノマドや既存の働き方と違った働き方が注目されています。それを実施するため、特にグローバルにビジネスを展開するために英語は必須です。（弊社代表も現在、ブエノスアイレス在住で、今現在はコロンビアに滞在

しています)

「漠然と英語が話せるようになりたい」という単純な思いで英語を勉強すると、きちんと目標設定をしてから、それをどのように習得していくかということを考えるのでは、おのずと結果が違ってきます。

日本でしか通用しない、また、実際には話せるようにならない資格を目標に勉強することには意味はありません。国際的に通用する人間になるためには国際的な英語資格を取得することから始めるのが一番です。

本件に関するお問い合わせ：(担当：松岡) support@onesword-online.com